

第 3 学年 社会科学習指導案

日 時 平成 29 年 10 月 31 日 (火曜日) 5 校時 (13:35~14:20)
学 年 第 3 学年 (33 名)
授 業 場 第 3 学年 1 組 教室
指 導 者 佐藤 章浩

1 単元 調べよう！徳島市の昔と今

2 単元の目標

- 徳島市の様子や生活の移り変わりについて聞き取ったり、過去や現在の地図をもとに調べたりしたことを年表にまとめ、市の人々の生活は、時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解できるようにする。
- 徳島市の交通や公共施設、土地利用や人口、人々の道具などの時期による違いに着目して、市の様子の変化を考え、今後の市のあり方を選択・判断し、表現できるようにする。
- 徳島市の様子や生活がどのように変わってきたかという学習問題の解決に向けて意欲的に追究しようとするとともに、市の発展を考えようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識及び技能	○徳島市の様子や生活の移り変わりについて市役所の方や地域の方などに聞き取る、過去や現在の写真資料・統計資料をもとに必要な情報を見出すなどして、自作の年表に整理している。 ○市の様子や人々の生活が時間と経過に伴い移り変わってきたことを理解している。
思考力・判断力・表現力等	○交通や公共施設、土地利用、人口、生活の道具に着目して、市の様子や生活の移り変わりを考えている。 ○今後の市のあり方について選択・判断したり、自分の考えを記述したりしている。
学びに向かう力・人間性等	○徳島市の様子や生活の移り変わりについて、学習問題の解決に向けて見通しをもって追究している。 ○今後の徳島市のあり方について市の一人として考えようとしている。

4 単元について

(1) 子供の実態と培いたい資質・能力について

本学級の子供たちは、単元「発見！徳島市のひみつ」の学習において、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設、歴史的な建造物などに着目して、徳島市の各地区の様子を考えた。「川内地区は、多家良地区と比べて工場が多い」「国府地区は野菜がよくとれる。津田地区は魚がよくとれる」など、各地区の様子を比べて特色を見出してきた。各地区の特色を、地理的な面から比較することができてきている。本単元では、「時間の経過」に着目した社会的事象の見方・考え方を働かせて、徳島市の様子や人々の生活の移り変わりを考え、年表に表していくことができるようにしたい。そして、単元で身につけた知識を活用して、市の一人として今後の徳島市のあり方や自分の行動について友達とともに話し合い、選択・判断できるようにしたい。

(2) 教材について

徳島市は、1889 年 (明治 22 年) に市制施行により成立した。その後、周辺地域を合併する形で、1967 年 (昭和 42 年) に現在の形となった。明治 22 年以降、徳島駅を中心として鉄道、バス路線が増加したり、道路や橋が建設されたりするなど交通面での発展が見られる。また、市立図書館、市立体育館、福祉センターなどの公共施設が相次いで建設された。市成立当時の人口は約 6 万人で、これは全国 10 位の人口であった。その後、人口は増加を続けたが、平成に入った頃から減少に転じ、少子高齢化の様相が見られる。市は、人口増を目標として掲げ、総合計画の中で、市民が暮らしやすい町をめざすことを示している。

本単元では、「人口」「交通」「土地利用」「公共施設」「生活の道具」などを観点として、徳島市の様子や生活の移り変わりを学んでいくことができるようにしたい。

(3) 認識と判断が相互に作用する授業場面について

単元全体を通して、徳島市が成立した明治 22 年から現在までの約 130 年の移り変わりについて具体的に調べていく。単元の後半では、市役所が実施した市民アンケートや、市役所の

まちづくり計画にふれることができるようにする。「市民みんなが暮らしやすい市をめざしたい」という市役所の方の言葉をきっかけに、徳島市がみんなにとって暮らしやすい市になってきているか、立ち止まって考える場面を設定する。「暮らしやすさ」に焦点化し、単元で培った歴史的な見方・考え方を働かせて話し合いを進めたい。市役所の方から聞いた話、家の方に聞いた話、実地調査で気付いたことなど単元で学んだことを活用して話し合いを進める中で、徳島市の現状や今後について多角的（お年寄りの方にとって、子育てしている方にとって、外国の方にとって等）に考えることができるようにしたい。徳島市の特長とともに、徳島市という地域社会に見られる課題を把握した上で、今後の市のあり方や自分たちにできる行動について、まちづくりの発想をもとに話し合っていきたい。

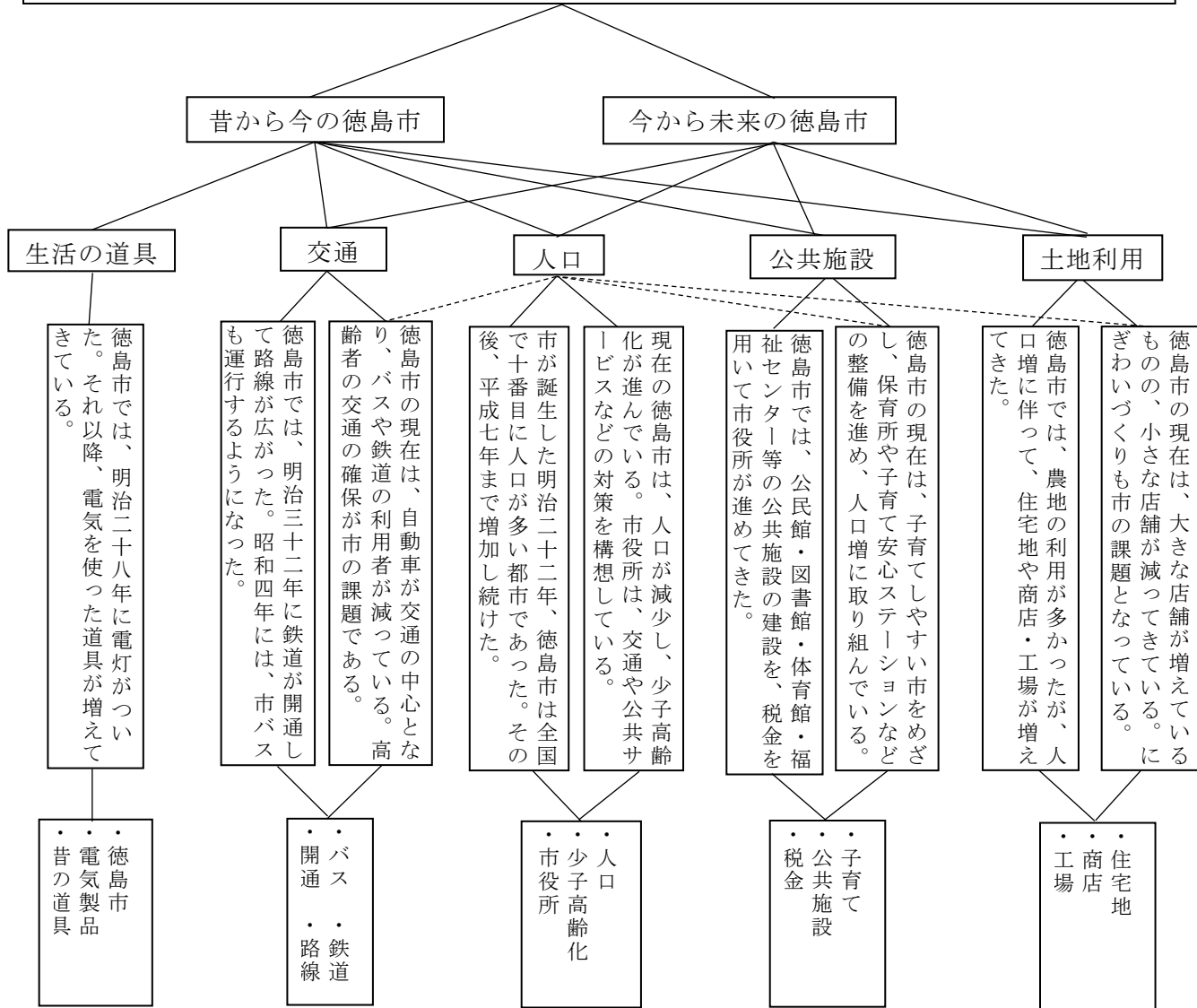
(4) 学習評価について

単元導入前に、社会科アンケートとして「どのような町に住みたいか」「この先、どのような徳島市になってほしいか」などを問いかける。その後、単元展開の中での子供たちの感想記述や表現物に記載された記述を見取り表の形に整理し、その後の授業展開における手立てとして活用する。単元終末には、単元導入時の社会科アンケートと比較する場を設定することにより、自己の変容を自覚できるようにしたい。

(5) 単元の構造図（丸数字は、指導計画の丸数字（時間）に対応）

[学習指導要領との関連] 第3学年 内容(4)
【知識・技能】
 (ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。
【思考力・判断力・表現力等】
 (ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。
【内容の取り扱い（選択・判断）】
 (ウ) 「人口」を取り上げる際には、少子高齢化、国際化などに触れ、これからの市の発展について考えることができるよう配慮すること。

【中心概念】 交通や公共施設、土地利用、人口、生活の道具などの徳島市の様子や徳島市で生活する人々の様子は、時間の経過に伴って移り変わっている。**【時間の経過】**



5 指導計画（全17時間）

□…学習問題， ◻…認識と判断が相互に作用する授業場面， ◆…主な評価

段階	活動と主な評価	予想される子供の反応	指導・支援
問題をつかむ	① 徳島市の昔の様子を写した写真を見て気付いたことや疑問を話し合っ、単元の学習問題をつくらう。	<ul style="list-style-type: none"> • 私たちが見学で見てきた徳島駅前の様子と全然違う。馬車に乗った人がいるよ。着物を着ている。 • 今の徳島市になるまでに、どんな出来事があったのかな。調べてみたいな。 	○約 130 年前の駅前等の写真を提示し、現在の写真と比べる活動を設定することにより、現在との差異に驚きを感じ、移り変わりを追求しようとする意欲を高めることができるようにする。
徳島市の様子や人々のくらしが、どのように変わったのか調べよう。			
予想を立てる 調べ方を決める	② 学習問題について予想して、単元の学習の計画を立てよう。	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車がどんどん増えていって道が新しくつくられていったのではないかな。 • 市役所の方や家の方に聞いてみるというんじゃないかな。 • 時代ごとに何があったかまとめていくと分かりやすいかもね。 	○予想を黒板上で分類することにより、「交通」「公共施設」「土地利用」「人口」「生活の道具」などの観点で調べていくという見通しをもつことができるようにする。
ひとりグループで調べる	③～⑤ 過去の副読本や昔の写真集などの資料から調べたり、家の方へのインタビューをして調べたりしよう。	<ul style="list-style-type: none"> • 空からの写真を見ると、建物の高さや数が全く違うなあ。 • 田や畑が昔は多かったけど、今は、公共施設や、広い道路にかわっているなあ。 	○気付きを発見カードに表す活動を設定することにより、集めた情報を整理することができるようにする。
	⑥～⑧ 船に乗って昔の徳島市の様子を考えたり、市役所の方に質問をしたりしよう。	<ul style="list-style-type: none"> • 市役所で計画して、図書館、福祉センターなどの公共施設を、税金を使ってつくっていったんだね。 • グラフを見ると、人口もどんどん増えていることが分かる。でも、最近では減っているなあ。 	○船員さんや市役所の方と打ち合わせをしておくことにより、昔と今の「移り変わり」を主眼として情報が得られるようにする。
	⑨ ここまで調べたことを整理して、マイ年表にまとめよう。	<ul style="list-style-type: none"> • 年表にすると、徳島市が生まれてから今までどんなことがあったか分かりやすいね。 • 約 130 年の間に、たくさんの出来事があったんだな。 	○現時点までの調査結果を年表にまとめる活動を設定することにより、徳島市の様子やくらしの移り変わりが視覚的にとらえられるようにする。
	⑩～⑫ 市役所の方にいただいた資料でさらに調べたり、市役所の方に教えてもらった施設にインタビューをしたりしよう。	<ul style="list-style-type: none"> • 昔の川は汚れていたけど今では川を守る会の方々の活動もあって、きれいになっているんだね。船でお世話になった方だったんだ。 • バスの案内所の方にお話をうかがうと、お年よりや外国の方が乗りやすい用に工夫しているんだ。 	○市役所で実施した市民アンケートを資料として提示することにより、市の特長と課題の両面に目を向けて調査活動を進めることができるようにする。
みんなで確かめる	⑬⑭ 昔と今を比べて、徳島市がどのように移り変わってきたか話し合おう。 ◆徳島市の様子や人々のくらしが時間とともに移り変わってきたことを理解している。（知）	<ul style="list-style-type: none"> • 「交通」から見ると、道路が増えたり、鉄道が広がったりしている。 • 「公共施設」から見ると、バスや鉄道によって駅にくる人が増えて、駅前にたくさん施設ができていくように考えられるね。 • 「まちづくり総合ビジョン」を見ると、みんなにとって暮らしやすい市をめざしているみたいだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想の段階の観点を想起できるように言葉かけを行うことにより、調べたことを分類整理したり、観点ごとに関連付けをしたりできるようにする。 ○移り変わりについて話し合う中で、市の暮らしやすさに焦点化することにより、意識を次時につなぐことができるようにする。
	⑮ 今の徳島市は、みんなにとって暮らしやすい市になってきているのか考えよう。（本時）	<ul style="list-style-type: none"> • 市民アンケートを見たり家の方の話を聞いたりすると、両方の意見があるみたい。自分が調べたことから考えると…みんなは、どう考えるんだろう。 	○市の暮らしやすさに焦点化して話し合う場面を設定することにより、昔と今の市を比較し、市の特長と課題の両面に目を向け、今後の市のあり方や自分の行動を考察することができるようにする。
徳島市が、みんなにとって暮らしやすい市になっているか考えよう。			
広げ深める	⑯⑰ この先、徳島市がどのような町をめざしていったらいいか、市役所の計画をふまえて考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> • 店やバスを増やすなどはすぐにはできないけど、みんなでアイデアを出して少しずつにぎやかにすることはできるのかも。 • 今の自分に考えられることは…。自分にせめて、できることは…。 	○「単元の中でお話を聞いた市役所の方に考えを伝える」という活動を設定することにより、現実をふまえたアイデアを考察することができるようにする。

6 本時の指導について

本時のポイント	市の暮らしやすさに焦点化して話し合う場面を設定し、市の特長と課題に分類して板書することにより、本時後半で、市に見られる課題をふまえて、今後の市のあり方や市の一人としての自らの行動を考えることができるようになるか。
----------------	--

(1) 本時の目標

徳島市の暮らしやすさについて話し合うことを通して、時間の経過に伴う市の特長や市に見られる課題をふまえ、今後の市のあり方について判断することができる。

(2) 本時の展開

(□は学習問題, □は子供の意識, □は教師の働きかけ, ■は資料)

子供の意識の流れ	学習活動及び◇指導・支援 ◆評価
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>調べてみると、昔と比べてよくなったところもあるし、これから直していったらいいこともあるな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>市役所の方が言っていた「みんなが暮らしやすい市」になっているのかなあ。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">意見が分かれたね。友達はどう考えているのかなあ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>徳島市が、みんなにとって暮らしやすい市になっているか考えよう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-bottom: 10px;"> ■市役所の統計や地域の方のお話など手元の資料 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ノンステップバスを増やしたと市バスの方が教えてくれたよ。お年よりや車いすの方でも乗りやすくなっているね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>暮らしやすいと思うけど、お年寄りにとったら、バスの本数が少なくて、少し不便なところもあるかなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>暮らしやすいとは思えないところもあるな。川を守る会の方が頑張っても、助任川にはごみが浮かんでいたもの。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>駅でも段差をなくしたり、外国の方が見やすいように外国語の案内板を増やしたりしているよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>便利にはなってきたけど、車がない方は買い物に行きづらいという意見も分かるなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>子育て安心ステーションみたいに、子育ての相談ができるようになったのは、いいことだね。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>みんなの話を聞いていると、昔と比べて暮らしやすくなったと感じるところも、もう少しよくなれば…と感じるところもあるみたいだね。徳島市を、さらに暮らしやすい市にするには、どうしたらいいのかな。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-bottom: 10px;"> ■市民アンケートや市の総合計画など既出の資料 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>やっぱり、「お年寄りが暮らしやすい」ことが大事な。ふれあい健康館のような施設が増えるといいなあ。市のアンケートにもそのような意見が書いてある。わたしは賛成だな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>お店の数を増やすのは難しいけど、イベントをすることはできるかも。市役所の方に聞いたLEDフェスティバルのようなイベントを増やせば人が集まってにぎやかな市になるかも。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>バスを増やしたりは今すぐできないけど、今自分にもできることは、川を守る会の方のようにごみ拾いを手伝ったり、お年寄りの方にバスの席をゆずったりすることかな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>徳島市がこれからもっと暮らしやすい市になっていくために、私たちも市の一人として考えたり、できることからやってみたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>私たちが考えたことをまとめて市役所の方に伝えて、市役所の方の意見を聞いてみたいな。市役所の計画もあるのかな。</p> </div> </div>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習問題をつかむ。 ⑤</p> <p>◇ 徳島市のまちづくりの特長にふれた感想と、課題にふれた感想の両方を意図的に紹介することにより、問いが子どもの中に芽生えるようにする。</p> <p>2 学習問題に対する自分の考えをつくる。 ⑩</p> <p>◇ ネームカードで自分の考えの立ち位置を表す活動を設定したり、単元で扱った資料を振り返るような言葉かけを行ったりすることにより、自分の考えをつくることができるようにする。</p> <p>3 徳島市の現状や今後について、友達と話し合う。 ⑫</p> <p>◇ 今後の徳島市に意識を向ける問いを投げかけることにより、市の未来について前向きに考えることができるようにする。</p> <p>◇ 意見が施設面に偏っていた際は「今の自分は、乗り物を増やしたり施設を増やしたりできるかな」のように逆説的に問いかけることにより、市民の一人としての行動にも目が向くようにする。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。 ⑮</p> <p>◇ 「単元が始まる前は…今は…」 「○○さんの考えに賛成(反対)で…」 「この先の徳島市は…」等の書き出しを例示することにより自分の考えの広がりや深まりに気付くことができるようにする。</p> <p>◆ 時間の変化に伴う市の特長や課題をふまえて今後の市のあり方や自分ができる行動を選択・判断している。 (思・判・表)【発言・ワークシート】</p>

第4学年 社会科学習指導案

日時 平成29年10月31日（火曜日） 6校時（14:30～15:15）
学年 第4学年（33名）
授業場 第4学年1組 教室
指導者 中尾 梓

1 単元 防災ブックをつくろう ―地震災害から人々を守るために―

2 単元の目標

- 過去に徳島県で発生した地震災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査したり資料で調べたりしてまとめ、徳島県の関係機関や人々は、地震災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される自然災害に対し様々な備えをしていることを理解することができるようにする。
- 今後起こりうる地震災害に対して地域の関係諸機関や人々が行う、地震災害から人々を守る活動を捉え、日頃から備えをするなど、自分たちにできることを考え、選択・判断することができるようにする。
- 地震災害から人々を守る様々な取り組みについて学習問題の解決に向けて意欲的に追究し、地域社会の一員として自分たちにできることを考え協力しようとする態度を養うことができるようにする。

3 単元の評価規準

知識及び技能	過去に徳島県で発生した地震災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査したり資料で調べたりしたことをノートや防災ブックにまとめている。そして、徳島県の関係機関や人々は、地震災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される自然災害に対し様々な備えをしていることを理解している。
思考・判断・表現等	地震災害から人々の命や生活を守るために自分たちにできることについて選択・判断したり、自分の考えを記述したり伝えたりしている。
学びに向かう力・人間性等	地震災害から人々を守る様々な取り組みについて見通しをもち、学習問題の解決に向けて意欲的に追究し、地域社会の一員として自分たちにできることを考え協力しようとしている。

4 単元について

(1) 子どもの実態と培いたい資質・能力について

本学級の子どもたちは、これまでに単元「4の1附ぞく消防隊」や「4の1安全けいさつ隊」の学習において、消防署や警察署などの関係機関や地域の人々は、他の市町村や他県と連携して、計画的・協力的に安全な生活を守るための活動を行っていることを学習してきた。

本単元では、これまでの学習を生かし、一部で起こる火災や事件・事故ではなく、県全域に被害が及ぶ大規模な災害に遭ったときの自然災害から人々を守る活動について学びを広げる。県や市がこれまでに起こった地震災害に対処してきたことや、これから起こりうる地震災害に備えて、様々な取り組みを行っていることを理解することができるようにしたい。事象や人々の相互関係に着目し、県庁や市役所、自衛隊などの国の機関の働きを中心に取り上げ、政治の働きに関心が高まるようにする。そして、単元で身につけた知識を活用して、今後起こりうる地震災害に対して、友達と対話的に学ぶ中で、地域社会の一員として自分（たち）にできることは何かを考え、自分たちの立場を踏まえて現実的な協力を選択・判断できるようにしたい。

(2) 教材について

地震災害は「天災」であり、起こることを防ぐことはできない。しかし、その被害の大きさは、災害にそなえる社会の強度によって左右される。そのことを子ども地震災害とその対処について調べるなかで感じていくことで、「人災」としての地震災害を考えることができるであろう。

徳島市は、第2次世界大戦時、昭和20年に計6回の空襲を受け、市街地の6割が焦土となった。そして、その翌年1946年（昭和21年）に昭和南海大地震は発生した。その規模は阪神淡路大震災を大きく上回るマグニチュード8.0であり、専門家によると約100年ごとにやってくる地震であることが分かっている。子どもたちが、地震災害を自分事として捉えられるようにすることができるように、昭和南海大地震を中心に過去に起きた地震について年表などを活用し捉えさせる。

今後起こりうる南海地震はこれまでをさらに上回る規模と予想されている。そのような地

震に対して、徳島県の「危機管理部とくしまゼロ作戦課」では、死者ゼロを目指した取り組みを行っている。とくしまゼロ作戦課を中心とした関係機関の公的な取り組み（公助）と、自主防災組織や学校、地域の取り組み（共助）、家庭や個人の取組（自助）との密接な連携により、災害につよい町づくりを目指し、一人一人が地域社会の一員としてできることを考える必要がある。

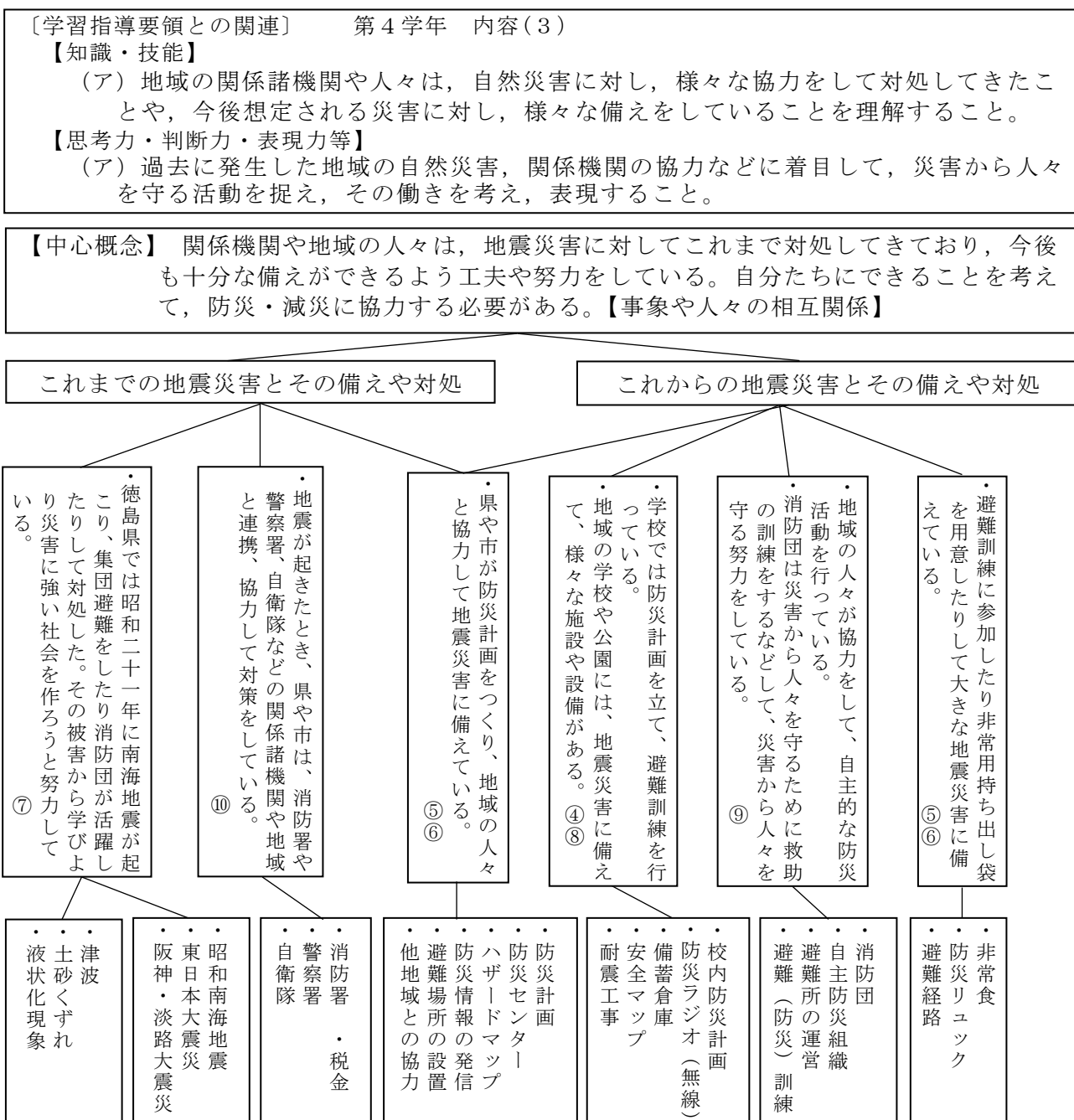
(3) 認識と判断が相互に作用する授業場面について

死者ゼロを掲げる徳島県の取り組みに対し、何を優先するべきか、一度立ち止まって考える時間を設けたい。これまでの歴史について調べたこと、防災センターや自主防災組織の方から聞いた話、家の方に聞いた話、実地調査で分かったことなど単元で学んだことを活用して話し合いを進める中で、「死者ゼロ」を実現するためには何を優先すべきなのか、多角的に考えることができるようにしたい。そして、関係機関や地域の地震災害に対する対処についての認識を深め、今後起こりうる自然災害に対して、県や市がどこに力を入れていけばよいか、自分たちにできることは何かを話し合っていきたい。

(4) 学習評価について

単元の導入に、社会科アンケートを実施し、地震災害について知っていることや徳島県の取り組みについて問う。その後、子どもたちの学習のふり返りや表現物に書かれていることを見取り表に整理し、その後の授業展開に活用する。単元の終末では、自分の考えをまとめ、単元導入時の社会科アンケートと比較する場を設定することにより、自己の変容を自覚できるようにしたい。

(5) 単元の構造図 ※丸数字は、指導計画の丸数字（時間）に対応



5 指導計画（全14時間）

□…学習問題, □…認識と判断が相互に作用する授業場面について, ◆…主な評価

段階	活動と主な評価	予想される子どもの反応	指導・支援
問題をつかむ	① 過去に発生した地震の写真や映像などを見て、地震災害について話し合おう。	<ul style="list-style-type: none"> 地震や津波が起こったら、私たちは生きのびられるのかな。 これまでに徳島ではどんな地震があったのかな。調べてみたいな。 地震災害を防ぐためにだれがどんなことをしているのだろう。 	○過去に徳島県で大きな災害となった昭和南海地震や、子どもたちの記憶にもある東日本大震災について取り上げることに、より身近で喫緊の課題として捉え、追求しようとする意欲を高めることができるようにする。
	地震災害から人々の命や生活を守るために、徳島県ではどのような取り組みをしているのだろう。		
予想を立てる 調べ方を決める	②③ 学習問題について予想し、単元の学習計画を立てよう。	<ul style="list-style-type: none"> 地震や津波についての本や資料を集めて調べよう。 家の人に聞いて、家の備えを調べよう。 防災センターを見学して調べよう。 地震が発生すると、消防署や警察署、自衛隊の人が協力して対処しているよ。 昭和南海地震を経験した人の話を聞きたいな。 	○予想を黒板上で子どもとともに分類することにより、「県や市」「地域」「家庭」「防災センター」「学校」「会社」などの観点で調べていくという見通しをもつことができるようにする。
ひとり(グループ)で調べる	④ 私たちの学校での地震災害に対する備えについて調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> 校舎が崩れないように、柱が斜めに補強されているよ。 学校の西門に備蓄倉庫があるよ。 玄関には、AED や自動開錠のかぎの箱があるよ。 たくさんのお弁当や携帯トイレなどが備えられているね。 	○気付きを防災のひみつ発見カードに表す活動を設定することにより、集めた情報を共有したり、整理したりすることができるようにする。
	⑤⑥ 防災センターを見学して、地震災害の恐ろしさや備えについて調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> 被害を減らすことができるように、避難支援マップを作成しているよ。 防災センターでは地震災害についてみんなに知らせるために、様々な施設や物が用意されているよ。 	○防災センターの方と打ち合わせをしておくことにより、過去の災害とこれからの災害について、調べられるようにする。
	⑦ 過去にどのような地震が起こり、どう対処してきたのか年表に表してみよう。	<ul style="list-style-type: none"> 年表にすると、何年おきにあったか、どんなことがあったかが分かりやすいね。 この年表の先の未来が気になってきたよ。 	○過去の地震災害について資料で調べたり、年表にまとめたりする活動を設定することにより、これまでの地震災害について視覚的にとらえることができるようにする。
	⑧ 私たちの町での地震災害に対する備えについて調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> 公園のベンチががまどになっているのは、よい工夫だと思うな。 知っていたらいざというときに、みんなに知らせることができて役立つね。 	○身近な地域を調査することにより、地震災害の備えとその意味を具体的に理解することができるようにする。
	⑨ 消防団や自主防災組織の取組について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> 地域が協力することで災害を少しでも減らせるのだと分かったよ。 	○地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、打ち合わせをしておくことにより、自分とのつながりを感じて問題を迫ることができるようにする。
	⑩ 地震が発生した時に、県や市、消防署や警察署の人々がどのような対策をしているのか調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> 防災ラジオや無線を使って地震情報を知らせてくれるよ。 協力や応援を求める連絡をしている。 県外や自衛隊などの国からも、支援がくるように計画されているよ。 	○地震が発生すると、県や市などの関係機関は、協力をして対処してきたことを具体的に捉えることができるようにする。
みんなで確かめる	⑪ 徳島県では地震災害から人々を守るために、どのような取り組みをしているのか話し合おう。	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県では南海トラフ巨大地震が起こったときのために、最も大きな被害を想定して、様々な取り組みをしているのだね。 自助・共助・公助のそれぞれが必要なことだと分かったよ。 	○子どもたちの意見やその根拠を「自助」「共助」「公助」の3観点で整理することにより、取り組みの意味を深く認識することができるようにする。
	⑫ とくしまゼロ作戦課の「死者ゼロ」を実現するにはどの取り組みを優先すべきか話し合おう。(本時)	<ul style="list-style-type: none"> 私は死者が一人もでないためには、まず、自分で自分の安全を守ることが一番大切なことだと思ったよ。 たくさんの対策があるけれど、〇〇にもっと力を入れるべきと思ったよ。 	○とくしまゼロ作戦課の取り組みを実現するための優先すべき取り組みに対して自分(たち)にできることは何かを問いかけることにより、地域社会の一員として自分に協力できることを考えることができるようにする。
とくしまゼロ作戦課の「死者ゼロ」を実現するには、何を優先すべきなのか考えよう。			
広げ深める	⑬⑭ 防災の取り組みを学んできて、自分たちには何ができるのかを考えて、防災ブックに表そう。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の避難訓練に参加しよう。 みんなのためにできることは少ないかもしれないけれど、せめて放送のとき静かにして、情報がみんなに届くようにしましょう。 避難生活では、自分にできることを考えて、食べ物を配ったり、お年寄りや小さい子どもに親切にしたりしたいな。 	○考えたことを防災ブックに表す場を設けることで、地震が起きる前や起きた後の防災・減災の取り組みについて具体的に考え、判断できるようにする。

6 本時の指導について

本時のポイント	とくしまゼロ作戦課が「死者ゼロ」を目指して取り組んでいることに焦点化して話し合う場面を設定し、「自分を守るため」と「周りの人を守るため」の観点で分類して板書することにより、今後起こりうる地震災害に対して、自分にできることを地域社会の一員として考え、選択・判断する子どもの姿が見られるか。
----------------	---

(1) 本時の目標

自助・共助・公助の観点から、今後起こりうる災害に対して「自分を守るために」できることと、「周りの人を守るために」できることについて、地域社会の一員として選択・判断することができる。

(2) 本時の展開

(□は本時のめあて, □は子供の意識, □は教師の働きかけ, ■は資料)

子供の意識の流れ	学習活動及び◇指導・支援◆評価
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 調べると様々な取り組みがされていると分かったよ。友達ほどの取り組みが大切と思ったのか気になるな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> とくしまゼロ作戦課では、「死者ゼロ」を目指しているけれど、大事な対策は何だろう。 </div> </div> <p style="text-align: center;">■前時の振り返り</p> <p style="text-align: center;">まず何から取り組んだらいいのだろう…。</p> <p style="text-align: center;">■とくしまゼロ作戦課の資料</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> とくしまゼロ作戦課の「死者ゼロ」を実現するには、どの取り組みを優先するべきなのだろう。 </div>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。 ⑤</p> <p>◇ 徳島県の地震災害への対策で優先すべき取り組みについて考えている感想と、友達の考えに関心をもっている感想を意図的に取り上げることにより、本時の学習問題が子どもたちの内で生まれるようにする。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ・自分の身は自分で守ることが一番大切だと思う。 ・それぞれが自分の家を耐震化することが大切と思う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ・地域での防災訓練をもっと積極的にするべきと思う。 ・近所の人と協力して助け合うことで、みんなが助かると思う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ・くずれそうな橋や道を強くすべきと思う。 ・町にもっと地震や津波の対策のものが。例えば…。 </div> </div>	<p>2 学習問題に対する自分の考えをもつ。 ⑩</p> <p>◇ 前時に出た考えを参考にして自分の考えをノートに表す活動を設定することにより、学習問題について自分の考えをもつことができるようにする。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 県や地域がどんな取り組みをしても、一人一人が自分の命を守ることがまず大切かな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> その考えは、徳島県全体のことを考えると分かるけど、まず自分たちの地域で協力して…。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> まず自分の命という考えも分かるなあ。でも、いくら自分で対策していても…。 </div> </div>	<p>3 学習問題について、友達と話し合う。 ⑳</p> <p>◇ その取り組みを選択した理由や根拠は何かを問いかけることにより、それぞれの取り組みの意味についての理解を深めることができるようにする。</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> これらの取り組みをして「死者ゼロ」にするために、今の自分（たち）にできることは何か。 </div>	<p>4 それぞれの取り組みについて、今の自分にできることは何かを考える。 ㉑</p> <p>◇ 「〇〇さんの考えを聞いて…」 「これからの自分は…」などの書き出しを例示することにより、自分の考えの広がりや深まりに気付くことができるようにする。</p> <p>◆ 徳島県では地震災害に対して様々な取り組みが行われていることを理解するとともに、取り組みの課題をふまえて今の自分にできる行動を選択・判断している。(思・判・表)</p> <p style="text-align: right;">【発言・ワークシート】</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自助だけでなく、共助・公助についてもそれぞれ自分たちにできることがあると思うな。例えば…。 </div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> (自分を守るために) ・津波が見えていなくても、即避難するよ。その時には合い言葉の「お・は・し・も・よ」を思い出す。 ・普段から放送をよく聞くようにして災害の情報を逃さないようにするよ。 ・地域の避難訓練に参加したい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> (他の人を守るために) ・学習したことを早く防災ブックにして周りの人に伝えたい。 ・避難するときには周りの人に声をかけながら避難する。 ・避難所生活では、困っている人の力になりたい。例えば、お年寄りには… ・自分を守ることが周りの人を守ることにもつながるかもしれない </div> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 徳島県がしている取り組みを私がおみんなに伝えることで協力してくれる人が増えるかもしれないからやってみよう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地震のときには自分を守ることはもちろんだけど、周りの人を助けられるようになりたいな。そのためには…。 </div>